

第 49 回 原子燃料管理検討会 議事録

1. 日 時：2022 年 3 月 24 日（木）13：30～14：40
2. 場 所：一般社団法人 日本電気協会 4階 D 会議室（Web 会議併用）
3. 出席者（敬称略，順不同）
 - 出席委員：北島主査(電力中央研究所)，野中副主査(東京電力 HD)，山野副主査(関西電力)，
香川(電源開発)，狩野(東芝エネキーンシステムズ)，黒沼(北海道電力)，
佐藤(三菱原子燃料)，鈴木(日本原子力発電)，谷口(中国電力)，
早川(グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン)，原田(中部電力)，兵頭(原子燃料工業)，
安田(日立 GE ニュークリア・エナジー)，山本(北陸電力) (計 14 名)
 - 代理委員：藤木(東北電力，高橋委員代理)，松井(三菱重工業，福田委員代理)，
武次(九州電力，柴田委員代理) (計 3 名)
 - 欠席委員：島本(四国電力) (計 1 名)
 - 常時参加者：大脇(原子燃料工業)，木間(グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン)，田淵(三菱原子燃料)，
福本(東京電力 HD)，松田((株)原子力エンジニアリング)，三木(テックシステムズ)，
三輪((株)原子力エンジニアリング)，安元(日本原子力発電) (計 8 名)
 - 事務局：原，葛西，田邊(日本電気協会) (計 3 名)

4. 配付資料

- | | |
|---------|---|
| 資料 49-1 | 第 48 回 原子燃料管理検討会 議事録（案） |
| 資料 49-2 | 炉心管理指針作成検討事項リスト |
| 資料 49-3 | 炉心管理指針策定スケジュール（案） |
| 参考資料-1 | 原子燃料管理検討会 委員名簿 |
| 参考資料-2 | 第 51 回 原子燃料分科会 議事録（案） |
| 参考資料-3 | 原子力発電所の炉心管理に係る活動指針（仮称）の検討状況について
（原子燃料分科会資料 51-5） |
| 参考資料-4 | 原子燃料分野の 2022 年度規格策定活動（案）
（原子燃料分科会資料 51-3-1） |
| 参考資料-5 | 原子力規格委員会 原子燃料分科会 2022 年度活動計画（案）
（原子燃料分科会資料 51-3-2） |
| 参考資料-6 | JEAC4001 及び IAEA 規格類体系との対応付け |
| 参考資料-7 | IAEA_SSG（炉心管理関連 NSG2_5）の分析結果(JEAC4001 時) |

5. 議 事

会議に先立ち事務局より，本会議にて，私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認の後，議事が進められた。

(1) 代理出席者承認，会議定足数の確認，オブザーバの承認，配布資料の確認

事務局より，配付資料の確認の後，代理出席者 3 名の紹介があり，分科会規約第 13 条（検討会）第 7 項に基づき，主査の承認を得た。確認時点で出席委員数は代理出席を含め 17 名で，分科会規約第 13 条（検討会）第 15 項の決議条件である委員総数の 2/3 以上の出席を満たしていることを確認した。

事務局より，参考資料-1 を用い，常時参加を希望する者 1 名の紹介があり，分科会規約第 13 条

(検討会) 第 8 項に従い、常時参加者として承認された。

(2) 前回議事録(案)の確認

事務局より資料 49-1 に基づき、前回議事録(案)の紹介があり、正式議事録とすることについて特にコメント等はなく、承認された。

(3) 「原子力発電所の炉心管理に係る活動指針(仮称)」の検討状況について

山野副主査及び松井氏(福田委員代理)より、資料 49-2,3 及び参考資料-6,7 に基づき、検討状況の説明があった。

主な説明は下記のとおり。

- ・ 1 月 31 日に開催された原子燃料分科会において、炉心管理指針の検討状況を報告した。その際、コメント、気づき、提案などを頂き、集約すると 7 点の検討事項になった。これへの対応方針について、検討会の委員に意見を募った。それらを勘案し、全体対応方針をまとめた。これが、資料 49-1 である。
- ・ 参考資料-6, 7 は、JEAC4001 原子燃料管理規程を作る際、JEAC4001 の記載事項について IAEA の安全確保のための階層的な要求及び IAEA の階層的な文書体系と比較・分析したものである。炉心管理指針を検討する際にも活用できると考え、紹介する。
- ・ 炉心管理指針の検討手順のイメージとしては、炉心管理項目を順番に並べたような表を作成し、その項目の横に推奨事項を記載し整理して行き、最終的にはそれを指針の本文に移していくものとする。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ PWR のワーキンググループ(WG)では、具体的な作業イメージが湧いてきていると思うが、BWR の方はどうか。
 - BWR の WG も、先程の説明と同じイメージかと思う。以前、炉心管理及び運転管理の業務内容の表があったかと思うので、それをベースに項目を洗い出しつつ、推奨事項を整理するという事で、BWR も遅れないように整理していきたいと思っている。
- ・ 次回検討会は PWR 及び BWR の WG で検討した項目について、お互い確認し合うということが良いか。
 - この 1 ヶ月かけて WG でまとめ、検討会で成果を報告し、すり合わせを実施したいと考える。
- ・ 最新知見の調査でニューシアの調査等について担当を決めて進めて行った方が良いと思うし、さらに PWR と BWR で別々に実施した方が良いと思うが、そのへんはどうか。
 - 内容的にも分かれて実施した方が効率的と考えている。次の作業会で各電力に分担を示し進めることを考えていた。
- ・ 作業イメージがつかみきれないが、PWR/BWR それぞれ記載項目を洗い出し、このような目次で如何かというすり合わせを議論するという形になるのか。そうすると各作業会の方で、項目の洗い出しをすれば良いとなるのか。
 - 理解では、項目出しと簡単な推奨事項を数行書くようなところまでをイメージしている。加え

てニューシアとかの調査事項を提案するのが次回検討会となると思っている。

(4) その他

- ・ 参考資料-4, 5 の 2022 年度活動計画等が基本方針策定タスクにて承認され, 次回(3 月 28 日)の原子力規格委員会で決定される。
- ・ 次回検討会は 4 月末から 5 月初旬で日程調整を行う。

以 上